

## 講習プログラムの概要

Module (各 1 時間)	内容	備考
<u>Module 1</u> BLS の基礎についての講義 CPR の演習	1. 全員集合し講義とデモを行う 2. 各グループに分かれて演習 1) CPR の実際 * 一連の流れを時間内で何度も実施する ① 安全確認 (安全の確認と感染防御) ② 反応の確認 (開眼、返答、目的のある仕草の有無) ③ 応援要請 (緊急通報・AED を依頼) ④ 呼吸をみる (気道確保、頸動脈触知) ⑤ 心停止の判断 (呼吸なしまたは死戦期呼吸) ⑥ CPR の開始 (胸骨圧迫) ⑦ 人工呼吸 (BVM、携帯式人工呼吸用フェイスマスクを使用した吹き込み法) 2) 気道異物除去 3) 体位管理：体位交換 (腹臥位から仰臥位) と回復体位	全員を対象とした講義は 15 分程度とし、各グループでの演習を主体とする
<u>Module 2</u> 心電図、AED (除細動)、 気道管理の演習	1. 心電図波形 (除細動を行うために必要な不整脈の知識の確認) 2. AED (取り扱いと注意点) ● マニュアル除細動器の取り扱いを AED (除細動) ブースとして組み込んでも可 3. バッグ・バルブ・マスク (BVM) 換気 ● 気管挿管を気道管理ブースとして組み込んでも可	ブースを 2 つに分け、オプション (●) の内容を入れることもできる。→この場合、AED (除細動) のブースと気道管理のブースに分けて行う (30 分交代でそれぞれを演習する)
<u>Module 3</u> 演習 (BLS の一連の流れ)	AED 使用を含めた、BLS の一連のシミュレーションを行う ① インストラクターによるデモンストレーション ② 簡単なシナリオを使用して、発見から AED を使用して自己心拍が再開するかあるいは、ALS チームに引き継ぐところまで行う ③ 第 1 発見看護師役、AED を持ってくる応援看護師役を設定 ④ Module1 のスキルを確認	
<u>Module 4</u> 演習 (実践編)	1. 実践で考えられる状況を想定したシナリオを準備する (ベッドの下に倒れている、イスに座った状態で心肺停止しているなど) 2. 受講生は 2 人 1 組で入ってもらい、状況を判断して対処する 3. 全体のまとめ	色々なシナリオを設定する 院内、院外とも想定に入れる 教育目標に従い、進行・評価をする